

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人長岡福祉協会	代表者	田宮 崇	法人・事業所の特徴	「要介護状態になっても地域とのつながりを絶やさない」「地域の中の施設」をコンセプトにしています。介護が必要になった人が家族や地域とのつながりを保ちながら、生活を送れるように「通い」「訪問」「泊まり」の3つのサービス形態を本人、家族の希望に合わせて柔軟に組み合わせ利用できます。「通い」「訪問」「泊まり」どのサービスを利用してもいつも顔なじみのスタッフがケアを行います。少人数登録制のため家庭的な雰囲気です。他の利用者・スタッフと楽しく過ごすことができ認知症の方も不安なく過ごすことができます。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 榎田屋	管理者	木村真人		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援C	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	2人	3人	3人	1人	0人	2人	0人	13人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 自己評価の確認	事業所自己評価について改善計画を継続し、今回出来ていない所に重点を置き目標を達成できるように努める。	目標を達成出来たところもあるが、出来ていないところもある。今後出来るように努めること。	目標を達成出来るように頑張ってもらえればいいのか	事業所自己評価について改善計画を継続し、今回出来ていない所に重点を置き目標を達成できるように努める。
B. 事業所のしつらえ・環境	利用者や家族、また地域の方に季節や小規模の雰囲気を感ぜられるような内容を継続していく。	利用者や家族、また地域の方にも楽しんで頂けるように雰囲気、環境作りに努めた。	季節に合った飾りや行事を行っている。	地域やボランティア等との連携を図り、利用者や家族、また地域の方に季節や小規模の雰囲気を感ぜられるような内容を継続していく。
C. 事業所と地域のかかわり	地域の民生委員会等に参加し、情報を共有し、事業所としても講義や広報誌などで情報の発信を継続していく。	地域の民生委員会等にあまり参加できなかった。	文化祭や行事などで関わっているのではないかな。	地域のボランティアに参加してもらい、情報を共有する。事業所としても講義や広報誌などで情報の発信を継続していく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしをささえる取り組み	地域の民生委員会等に参加し、情報を共有する。また、介護相談日（相談員出勤）をカレンダー等で掲示する。	地域の民生委員会等にあまり参加できなかった。 介護相談日は地域の方にカレンダー等で掲示ができていない。行事やイベント等で掲示していた。	なし	地域のイベントや活動等に出来る限り参加し、利用者と地域との関りを繋げていく。

E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議で議題に上がった内容はできるだけ迅速に対応し、必要があれば地域と共に課題解決に向け取り組んで行く	小規模として検討する課題が無かったが、あれば検討していく。	小規模としての見聞はなかったと思う。	運営推進会議で議題に上がった内容はできるだけ迅速に対応し、必要があれば地域と共に課題解決に向け取り組んで行く
F. 事業所の 防災・災害対策	防災・災害対策計画をもとに地域と事業所が一带となって取り組み協力体制を継続していく。訓練の際は家族にも連絡、報告する。	防災・災害対策に努め、地域と協力して取り組むことが出来た。訓練の際に家族へ連絡しなかった。	防災訓練の際は家族にも報告をされた方が安心できるのでないか。	防災・災害対策計画をもとに地域と事業所が一带となって取り組み協力体制を継続していく。訓練の際は家族にも連絡、報告する。